

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<29週> ヘルパンギーナ、手足口病 - 定点当たり報告数は前週に比べて減少 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第29週時点での本年の累積報告数は1,651
<ヘルパンギーナ> 第29週の報告数は18,277で、定点当たり報告数は6.06



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 咽頭結膜熱 / ヘルパンギーナ / 流行性角結膜炎 / インフルエンザウイルス



速報
P.6

平成12年度デングウイルス感染事例 - 東京都



海外感染症情報
P.7-8

コレラ流行情報 - アフガニスタン、チャド、タンザニア / クロロキン耐性マラリアの死亡例 - アフリカからアメリカ合衆国への輸入例



感染症の話
P.9-11

風疹
近年国内においても発生は減少傾向にあるが、妊娠可能年齢およびそれ以前の女性に対するワクチン対策が重要である



読者のコーナー
P.12

無症状病原体保有者の届出について



グラフ総覧(29週)
P.13-19



29週のデータ
P.20-27



発生動向総覧

第29週コメント 7月27日集計分

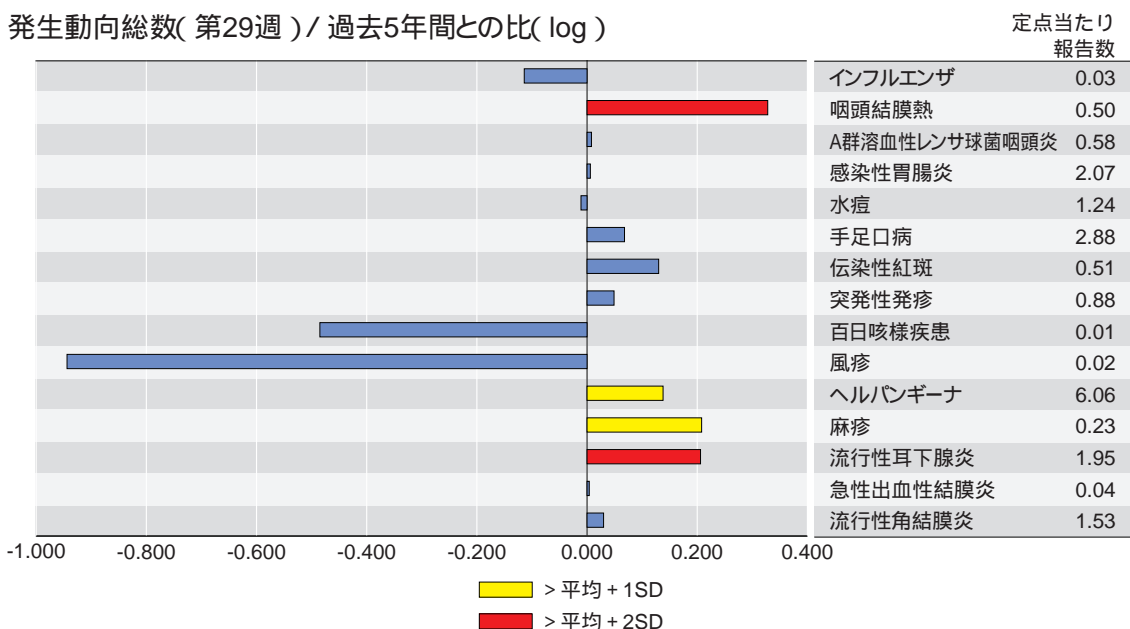
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢8例(推定感染地: 国内、インドネシア、カンボジア各2例、フィリピン1例、国外不明1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症140例(詳細は4ページ「注目すべき感染症」参照)
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症1例、先天性風疹症候群1例、ツツガムシ病2例(山形県、宮城県各1例)
 - 急性ウイルス性肝炎6例
 - A型4例
 - B型1例__感染経路: 性行為
 - C型1例
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(ともに孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群3例(無症候性キャリア2例、その他1例)
 - 感染経路: 性行為2例 異性間1例、同性間1例)
 - 不明1例
 - デング熱4例(推定感染地__フィリピン3例、タイ・ラオス1例)
 - 梅毒4例(無症候4例)
 - マラリア2例 熱帯熱1例(推定感染地: ガーナ)
 - 型不明1例(推定感染地: ガーナ、同一症例の可能性を調査中)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

流行性耳下腺炎は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が11週間続いており、都道府県別では福井県5.1、石川県5.0、佐賀県4.4などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が2000年第41週から続いており、都道府県別では滋賀県1.4、群馬県1.2、岐阜県、静岡県各1.0などの報告がある。麻疹、ヘルパンギーナなどの定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

発生動向総数(第29週) / 過去5年間との比(log)

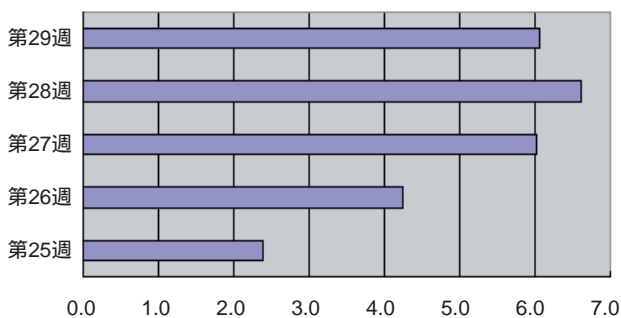


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

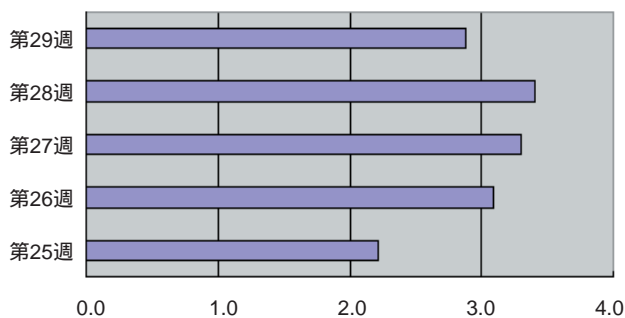
最近の注目疾患－5週間の動き

最近まで10週間続けて増加を示したヘルパンギーナ、手足口病の定点当たり報告数は、両者ともに前週に比べて減少した。咽頭結膜熱は相変わらず増加している。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は、前週に比べて不変である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

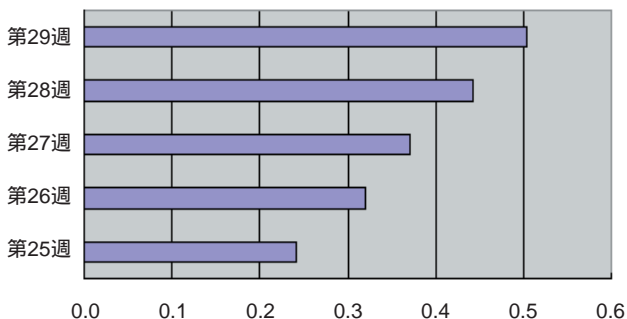
ヘルパンギーナ



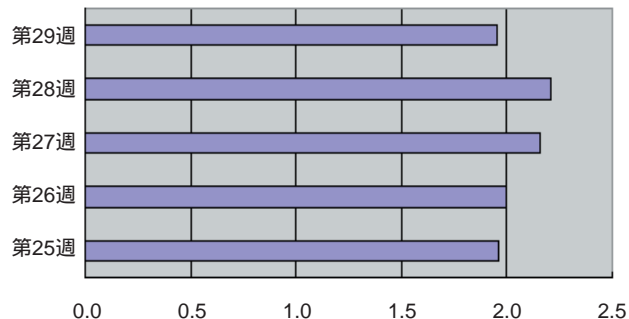
手足口病



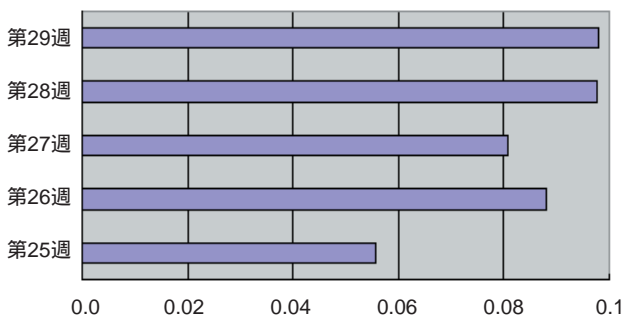
咽頭結膜熱



流行性耳下腺炎



無菌性髄膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

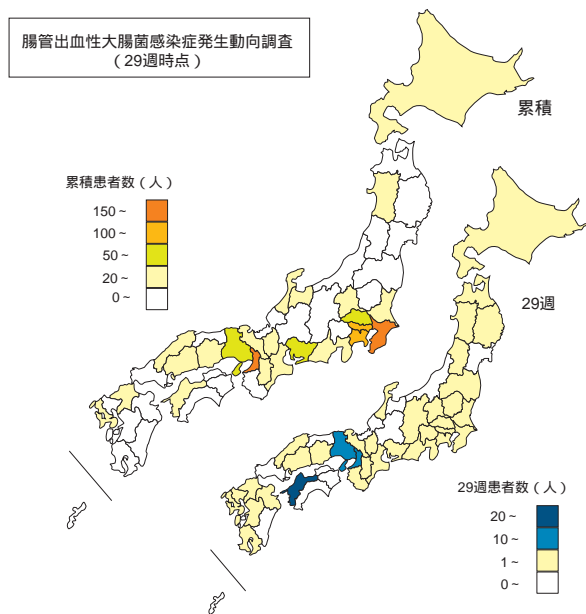


注目すべき感染症

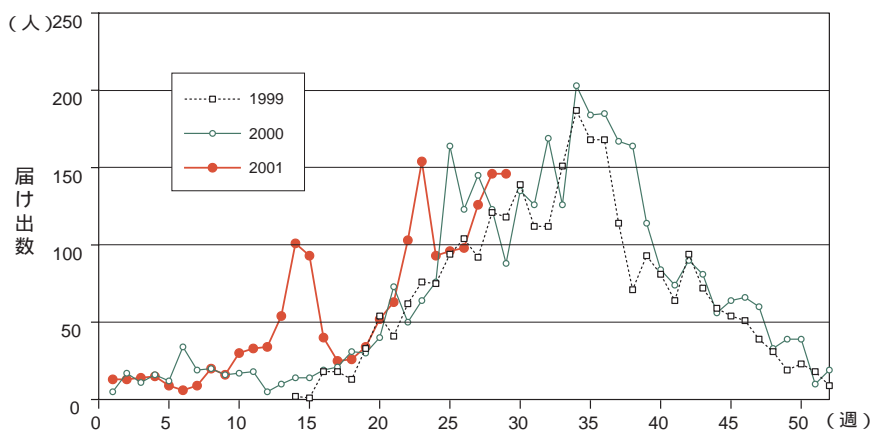
腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年には複数のO157感染症が広域発生した影響で、昨年に比べ患者報告数が早い時期から多くみられている。第29週の報告数は140で、都道府県別では愛媛県、大阪府、兵庫県からの報告が多くなされている。原因菌としてはO157(VT1, VT2産生)以外に、O26(VT1産生)もみられている。松山市では病院施設内での集団感染が報告されている。

第29週時点での今年の累積報告数は1,651であり、都道府県別では千葉県、大阪府、神奈川県などから報告が多くなされている。本年度の累積報告数を5歳刻みの年齢階級別にみると、0～4歳315、5～9歳222、10～14歳155の順に多くなっているが、他の年齢層でも一定の割合で発生が見られる(検出された病原体については5ページを参照)。



腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)届け出状況



ヘルパンギーナ流行状況

主にA群コクサッキーウイルス、B群コクサッキーウイルス、稀にはエコーウイルスなどを病因とし、発熱、特徴的な咽頭所見を呈する疾患である。1～4歳に多く、その発生は6～8月に増加し、通常は7月頃にピークを形成する。感染症発生動向調査では、全国約3,000の小児科定点より毎週報告がなされている。

第29週の報告数は18,277で、定点当り報告数は6.06である。また、第29週時点での今年の累積報告数は89,737で、定点当り累積報告数は29.89である。累積報告数について1歳刻みの年齢階級別にみると、1歳18,877、2歳16,760、3歳14,664の順に多くなっている。また、定点当り累積報告数を都道府県別にみると、広島県68.3、徳島県61.7、愛媛県50.0の順に多くなっている(検出された病原体については5ページを参照)。



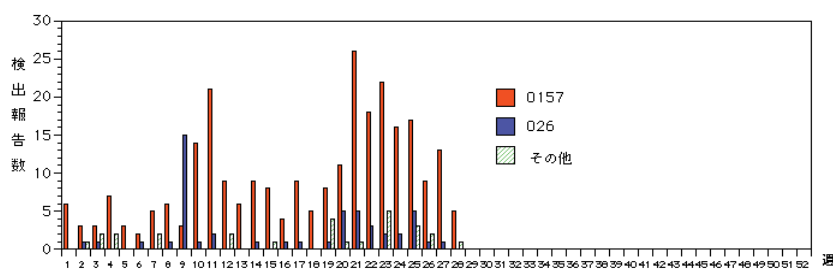
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年7月27日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が268件、O26が50件である。第21週には、石川県で起きた集団発生事例からのO157検出15件が報告された。最近では、O157が第26週に9件(兵庫県4、茨城県2、札幌市、福島県、京都市各1)、第27週に13件(兵庫県9、秋田県3、熊本市1)、第28週が5件(山形県4、熊本市1)、O26が第26週に1件(福島県)、第27週に1件(山形県)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年7月27日現在報告数)



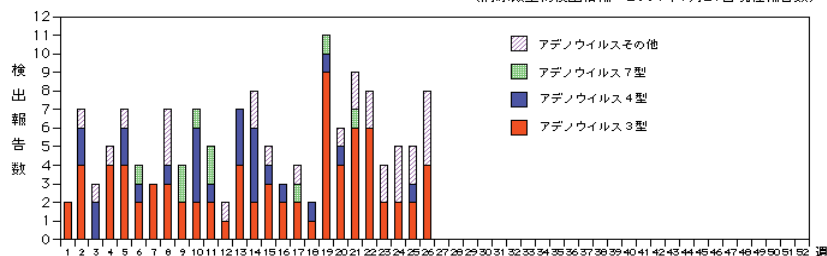
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2001年

本年分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型78件(長野県26、仙台市13、新潟県7、宮城県5など)、4型26件(兵庫県22、新潟県3、福岡市1)、2型15件(仙台市6、長野県3、兵庫県2、新潟県、広島市、福岡県、北九州市各1)、7型9件(新潟県6、北九州市3)、1型6件(広島市3、長野県、長崎県、熊本市各1)、5型6件(兵庫県4、仙台市、北九州市各1)、19型1件(広島市1)である。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年7月27日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2001年

本年分離報告されたウイルスは、A群コクサッキーウイルス(CA)53件(4型15、2型13、8型8、5型6、10型6、9型3、6型2)、B群コクサッキーウイルス(CB)20件(4型11、5型6、1型2、3型1)、エコーウイルス(E)1件(11型1)である。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型32件(札幌市10、香川県6、長野県、熊本県各4など)、4型12件(札幌市7、茨城県、香川県各2、長野県1)、37型9件(札幌市5、熊本県2、岡山県、広島市各1)、8型5件(茨城県、岡山県各2、札幌市1)、19型4件(札幌市2、長野県、山梨県各1)である。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,856件、A/香港(H3N2)型が793件、B型が2,345件報告されている。2001年6月以降に分離・検出されたウイルスは25件報告されており、A/ソ連型が1件(第25週;横浜市)、A/香港型が1件(第22週;京都市1)、B型が23件(第22週;新潟市2、川崎市1、第23週;沖縄県3、第24週;青森県、香川県各2、札幌市、仙台市、長野県、沖縄県各1、第25週;名古屋市2、青森県、長野県、香川県各1、第26週;名古屋市2、青森県、長野県各1)である。



平成12年度デングウイルス感染事例 - 東京都

東京都では、1999(平成11)年度より感染症発生動向調査にデングウイルスの検査を導入し、2000(平成12)年度は「デング熱疑い」で医療機関より搬入された検体15件の検査を行った。その結果、9件(7名)がデングウイルス感染陽性と判定された。

デングウイルス感染の確認は、IgM、IgG抗体の検出(PanBio社)、PCR法によるウイルス遺伝子の検出およびウイルス分離試験によって行った。IgM抗体検出によって感染を確認できたものが9件(7名)中7件(6名)と最も多く、unitは11.2～53.6であった。IgM抗体が陰性だった検体(No.6&7)は、発病初期(1、3病日)のものであり、ウイルス遺伝子およびウイルス分離が陽性になったことで、デングウイルス感染を確認することができた。これらは、PCR法による血清型別の結果、No.6が2型、No.7が1型感染であった。

感染が確認されたすべての症例は、発病前にフィリピン、インド、インドネシア等への海外渡航歴があり、臨床症状は、39以上の発熱、発疹、筋肉痛等を呈していた。

海外旅行者数の増大、流行地域の拡大など、我々がデングウイルスに感染する機会も増加傾向にある。デング熱患者の発生を監視し、情報提供することがさらに重要になってくる。

東京都立衛生研究所・ウイルス研究科

田部井由紀子 吉田靖子 長谷川道弥 長島真美 平田一郎

(IASR7月号より抜粋、詳細はIASR Vol.22 No.7 p12を参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アフガニスタンでコレラ流行

WHO/CSR 2001年7月26日

7月25日現在、WHOはアフガニスタンのコレラ流行で、死亡患者114例を含む患者4,499例を報告した。患者は北部地域(Khulm, Aibak)、北東部地域(Faizabad, Kunduz)、東部地域、南部地域、南東部地域で発生している。WHOは流行対策に関し、アフガニスタン公衆衛生省を援助している。WHOは2組の対策チームを流行地に派遣し、医療品の供給を行っている。MSF(国境無き医師団)も流行対策に参加している。

チャドでコレラ流行

WHO/CSR 2001年7月26日

7月25日現在、チャド保健省は死亡患者20例を含むコレラ患者608例を報告した。患者の大部分がN'djamena地区で発生しているが、2例の死亡例を含む患者22例は新たな感染流行地区で発生した。その内訳は、Massakoryで17例、Bongoで4例、Moundouで1例であった。

WHOは保健省、MSFと共に流行対策にあたっている。

タンザニアでコレラ流行

WHO/CSR 2001年7月26日

WHOは2001年5月18日から7月20日間に、Dar es SalaamのTemekeとIlala地域で死亡患者3例を含むコレラ患者109例を報告した。タンザニア保健省は、上水源の塩素化、コレラ治療センターへの医療品供給、住民への保健教育を含む流行対策を実施している。

クロロキン耐性マラリアの死亡例 - アフリカからアメリカ合衆国への輸入例

MMWR 50(28); 597-9. 7月20日

2001年1～3月の間に、クロロキン耐性熱帯熱マラリア流行地において、マラリア予防薬としてクロロキン単剤あるいはクロロキンとプログアニルを併用した2名のアメリカ合衆国市民がマラリアに罹患して死亡した。CDCは、クロロキン耐性熱帯熱マラリア流行地への旅行者に対して、クロロキンによる予防内服を勧めていない。この報告は、今回の2症例の調査結果を要約し(ここでは省略)臨床医や旅行者が、このような地域に旅行する際に推奨される予防内服処方を知っておくべき必要性があることを強調している。

CDC論説:

1992年以降、海外での予防内服が不適切であったためマラリアで死亡した合衆国市民7例がCDCに報告された。それらの旅行者にはすべて、クロロキン耐性マラリアが広く存在するサハラ以南地域への旅行に際して、予防内服薬としてクロロキンが処方された。クロロキン耐性熱帯熱マラリアの分布地域は拡大しており、サハラ以南のアフリカ全域、東南アジア、インド亜大陸、アマゾン流域を含む南アメリカの広範な地域にみられる。1992年から2001年にかけてアメリカ合衆国に輸入された4,685例のマラリア患者中、893例(19%)で予防内服が不適切であり、2,616例(56%)

が予防内服を行っていなかった。1995～2001年にかけて、予防内服が不適切であった505例中351例(70%)が、クロロキン耐性マラリア流行地域への旅行に際してクロロキンを服用していた。

1990年以降CDCは、クロロキン耐性マラリアが存在する地域での予防内服薬としてメフロキンを推奨してきた。ドキシサイクリンはその代替薬として推奨される。クロロキンは理想的にはプログアニルを併用すべきであるが、メフロキンやドキシサイクリンが服用できない人にものみ推奨される。2000年7月にはアメリカ合衆国で、アトバコンとプログアニルの合剤であるマラロンの使用が認可された。2000年11月以降CDCは、クロロキン耐性マラリアが存在する地域での予防内服薬としてマラロン、メフロキン、ドキシサイクリンを推奨しており、もはやクロロキンとプログアニルの併用は推奨していない。

旅行者や旅行者に医学的アドバイスをする医療関係者は、クロロキンが有効なのは世界のごくわずかの地域しかないことを知っておく必要がある。



感染症の話

風 疹

風疹(rubella)は、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症である。近年国内においてもその発生は減少傾向にあるが、まれに見られる先天性風疹症候群予防のために、妊娠可能年齢およびそれ以前の女性に対するワクチン対策が重要な疾患である。

疫 学

我が国では風疹の流行は2～3年の周期を有し、しかも10年ごとに大流行がみられていた。最近では、1976、1982、1987、1992年に大きい流行がみられているが、次第にその発生数は少なくなりつつあり、流行の規模も縮小しつつある。季節的には春から初夏にかけてもっとも多く発生するが、冬にも少なからず発生があり、次第に季節性が薄れてきている。

感染症発生動向調査では全国約3,000カ所の小児科定点より報告がなされているが、平成12年1～12月の1年間でみると、累積報告数が3,123で、定点当たり累積報告数が1.05であった。本年の平成13年度については第28週までの時点で見ると、累積報告数が1,802で、定点当たり累積報告数が0.60である。

病原体

風疹ウイルスはTogavirus科Rubivirus属に属する直径60～70nmの一本鎖RNAウイルスで、エンベロープを有する。血清学的には亜型のない単一のウイルスである。上気道粘膜より排泄されるウイルスが飛沫を介して伝播されるが、その伝染力は麻疹、水痘よりは弱い。

臨床症状

感染から14～21日(平均16～18日)の潜伏期間の後、発熱、発疹、リンパ節腫脹(こゝに耳介後部、後頭部、頸部)が出現するが、発熱は風疹患者の約半数にみられる程度である。3徴候のいずれかを欠くものについての臨床診断は困難である。溶血性レンサ球菌による発疹、典型的ではない場合の伝染性紅斑などとの鑑別が必要になり、確定診断のために検査室診断を要することが少なくない。

多くの場合、発疹は紅く、小さく、皮膚面よりやや隆起して全身に分布する斑状丘疹である(写真1)。発熱は発疹とほぼ同時期に現れ、3日間ほどで解熱するが(ここから三日はしかともよばれる)、発疹が消えるまでにはさらに数日間を要することがある。通常色素沈着や落屑はみられないが、発疹が強度の場合にはこれらを伴うこともある。リンパ節は発疹の出現する数日前より腫れはじめ、3～6週間位持続する(写真2)。カタル症状を伴う



写真1. 風疹による発疹 - 顔面および体幹全体に見られる



写真2. 耳介後部リンパ節の腫脹が見られる

が、これも麻疹に比して軽症である。ウイルスの排泄期間は発疹出現の前後約1週間とされているが、解熱すると排泄されるウイルス量は激減し、急速に感染力は消失する。

基本的には予後良好な疾患であり、血小板減少性紫斑病(1/3,000～5,000人)、急性脳炎(1/4,000～6,000人)などの合併症をみることもあるが、これらの予後もほとんど良好である。成人では、手指のこわばりや痛みを訴えることも多く、関節炎を伴うこともある(5～30%)が、そのほとんどは一過性である。

風疹に伴う最大の問題は、妊娠前半期の妊婦の初感染により、風疹ウイルス感染が胎児におよび、先天異常を含む様々な症状を呈する先天性風疹症候群(congenital rubella syndrome: CRS)が高率に出現することにある(詳細は感染症週報IDWR2000年第7週号参照)。これは妊娠中の感染時期により重症度、症状の発現時期が様々である。先天異常として発生するものとしては、先天性心疾患、難聴、白内障、網膜症などが挙げられる。先天異常以外に新生児期に出現する症状としては、低出生体重、血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、間質性肺炎、髄膜脳炎などが挙げられる。また、幼児期以後に発症するものとしては、進行性風疹全脳炎、糖尿病などがある。

病原診断

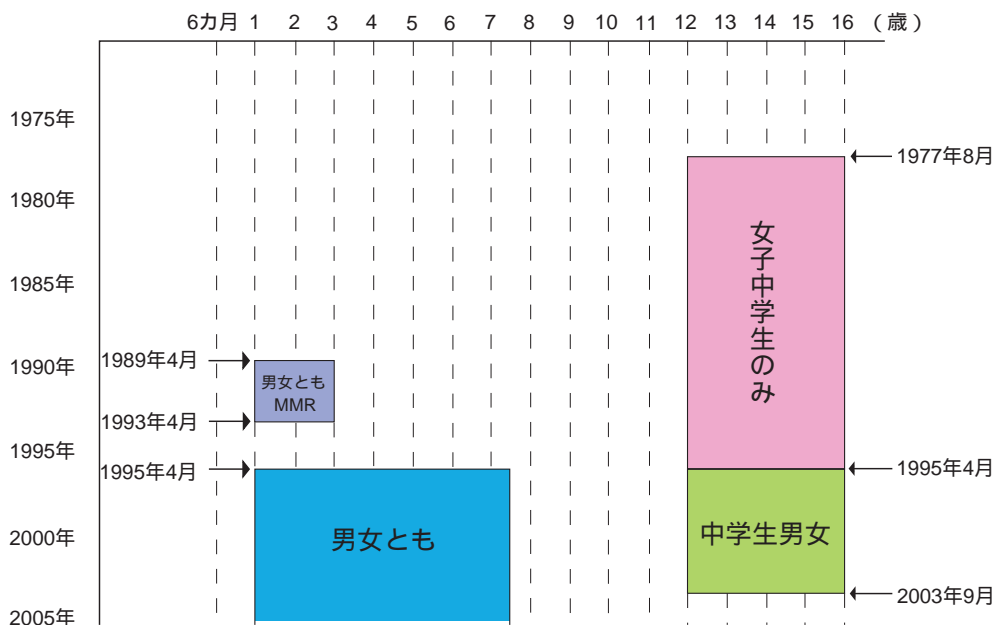
ウイルスの分離が基本であるが通常は行われず、保険適応でもない。血清診断は保険適応にもなっており、一般的に用いられている。赤血球凝集抑制反応(HI)、中和法(NT)、補体結合法(CF)、酵素抗体法(ELISA)などの方法があり、以前にはHI法が主流であった。その場合、急性期と回復期の抗体価で4倍以上の上昇により診断する。最近ではELISAが使われるようになり、急性期で特異的IgM抗体が検出されれば、単一血清での診断も可能である。CF法は感染後比較的早期に陰性化するので、抗体保有の有無をみるための検査としては不向きである。

治療・予防

特異的治療法はなく、対症的に行う。発熱、関節炎などに対しては解熱鎮痛剤を用いる。

弱毒生ワクチンが実用化され、広く使われている。MMR(麻疹・おたふくかぜ・風疹)混合ワクチンとして使用している国も増加している。我が国では平成6年以前は中学生の女子のみが風疹ワクチン接種の対象であったが、平成6年の予防接種法改正以来、その対象は生後12カ月以上～90カ月未満の男女(標準は生後12カ月以上～36カ月以下)とされた。また経過措置として、平成15年9月までの間は、12歳以上～16歳未満の男女についてもワクチン接種の対象とされた。現時点での予防接種率をみると、風疹の予防接種を受ける幼児の数は増加したが、逆に中学生での接種率は減少し、対策の強化が課題となっている。平成8年度の伝染病流行予測事業による調査では、我が国における風疹抗体保有状況をみると、小学校高学年から中学生年齢の女子の抗体陽性率は低く、12歳女子における風疹抗体陽性率は52%にすぎない。風疹の流行の規模は縮小しつつあるが、発生が消えたわけではない。風疹に対する免疫を有しない女性が妊娠した場合に風疹の初感染を受ければ、先天性風疹症候群発生の危険性が高いことは明らかであり、現時点では幼児期のみならず中学生に対しても風疹ワクチン接種を積極的にすすめる必要がある。

風疹ワクチン定期接種の経緯



感染症法の中での取り扱い

風疹は4類感染症定点報告疾患であり、その報告は全国約3,000の小児科定点より毎週なされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の3つの基準のすべてを満たすもの

1. 突然の全身性の斑状丘疹状の発疹(maculopapular rash)の出現
2. 37.5 以上の体温
3. リンパ節腫脹

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

先天性風疹症候群は4類感染症全数報告疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準については、感染症週報IDWR2000年第7週号を参照のこと。

学校保健法での取り扱い

風疹は第二種の伝染病に定められており、登校基準としては、紅斑性の発疹が消失するまで出席停止とする。なお、まれに色素沈着を残すことがあるが、その段階で出席停止とする必要はない。

(国立感染症研究所感染症情報センター)



読者のコーナー

Q: 感染症法のもとでは、ジアルジア症などの無症状病原体保有者を届け出る必要があると理解していましたが、届け出る必要はない、との意見もあるようです。どちらが本当でしょうか？

(石川県研究者M.I.氏)

無症状病原体保有者の届出について

ジアルジア症を含む4類感染症は、原則として有症状病原体保有者を対象としており、無症状病原体保有者を届け出る必要がありません。4類感染症の中で例外的に無症状病原体保有者でも届け出るのは、HIV感染症(法律上では後天性免疫不全症候群と記載)と梅毒だけです。これに対して1, 2, 3類感染症は全て、無症状病原体保有者でも届け出ることに なっています。

(国立感染症研究所感染症情報センター)

Q: 公式見解はそうであったにしても問題は残ります。クリプトスポリジウム症では下痢が治まったあとも4～6週間はオーシストの排出が続くし、ジアルジア症では無症状で長期間シストを排出する例は少なくありません。それらが環境水や水道水などを汚染して集団感染の原因になる可能性があります。この法律は感染症の予防に力点を置いたものであり、無症状病原体保有者をも届け出しないと法律制定の意味と効果は半減します。また、これらの届け出に特段の手間や経費がかかるわけではなく、届け出しないデメリットの大きさを考えれば、この点の改定をすべきであると考えますが、いかがでしょうか？

(石川県研究者M.I.氏)

上でご返答した事は、公衆衛生審議会(現、厚生科学審議会)による審議を踏まえて法律(感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律)で定められています。しかし、4類感染症の中ですでに規定されている上記2疾患以外でも、無症状病原体保有者の届け出をするように今後扱いを変えるべきかどうかについては、これから検討を進めていく必要があると思います。

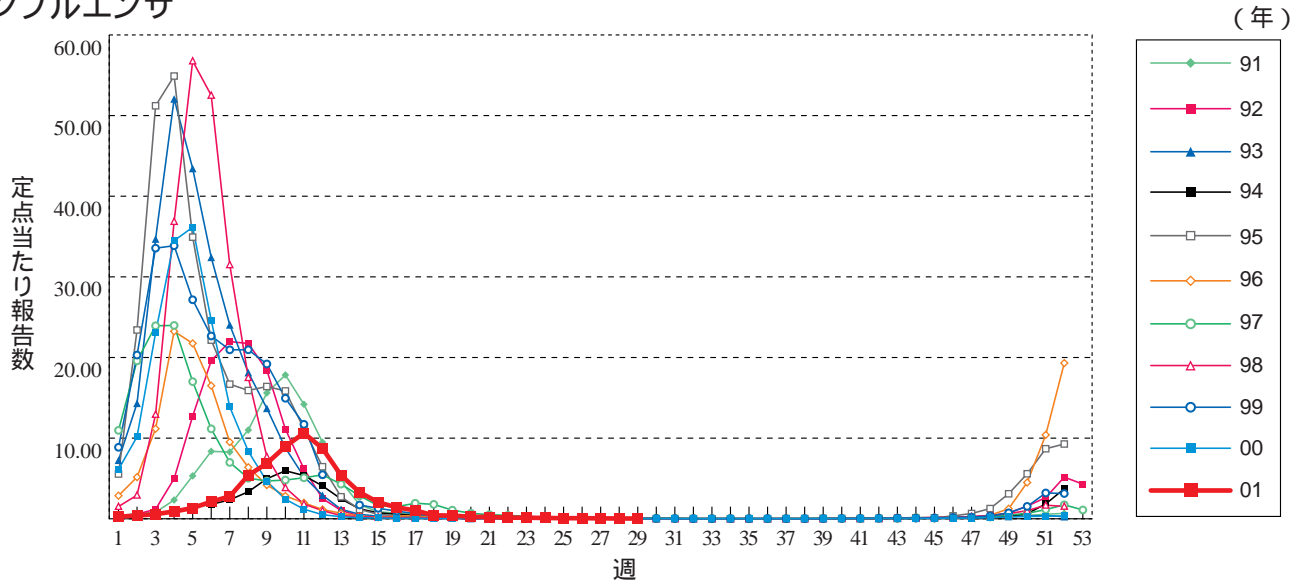
(国立感染症研究所感染症情報センター)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

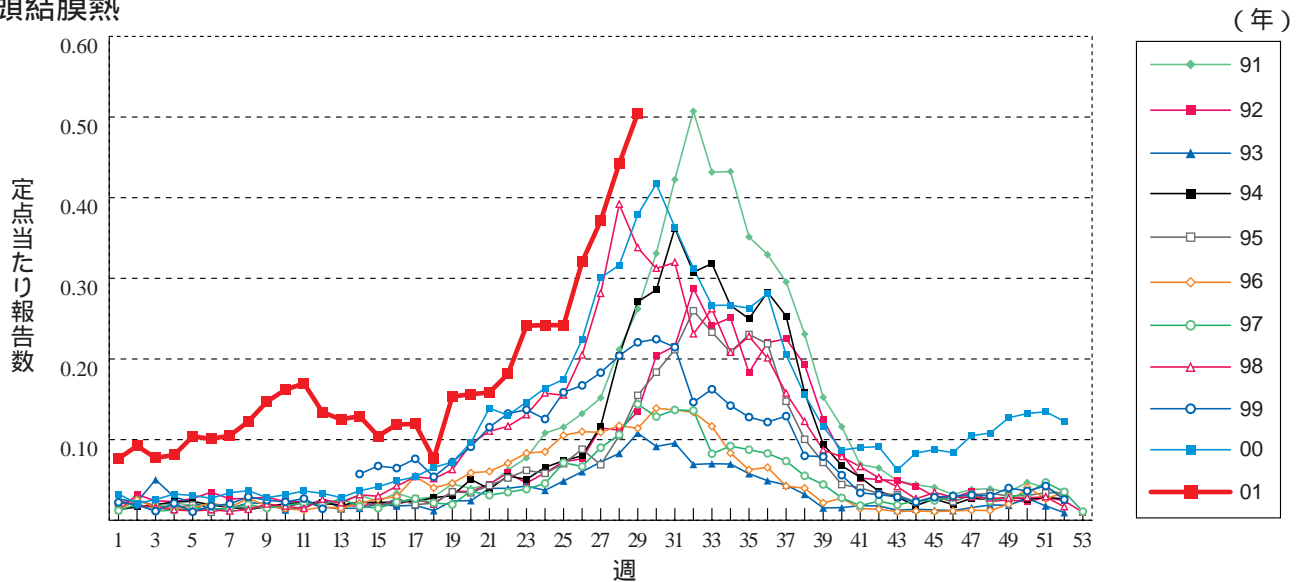
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(29週)

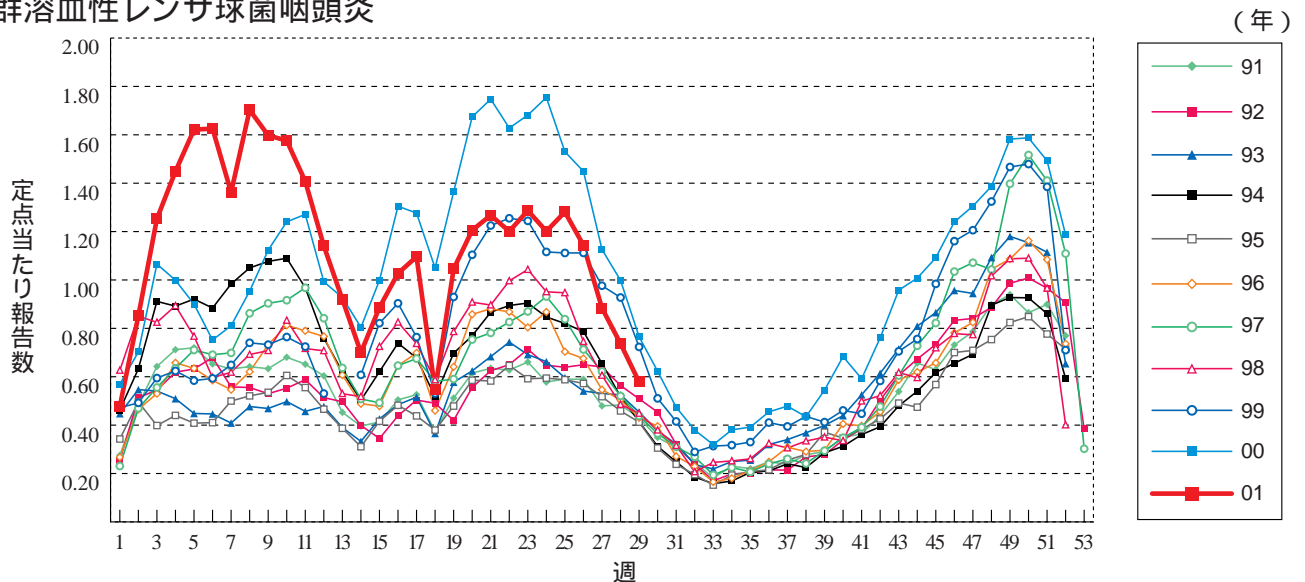
インフルエンザ



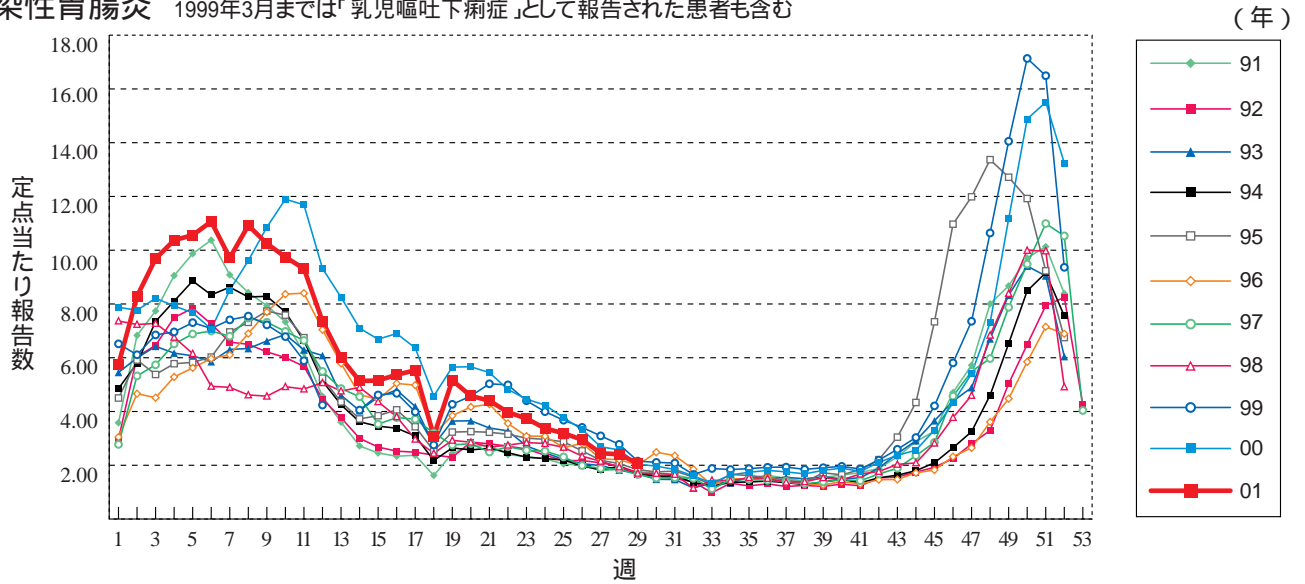
咽頭結膜熱



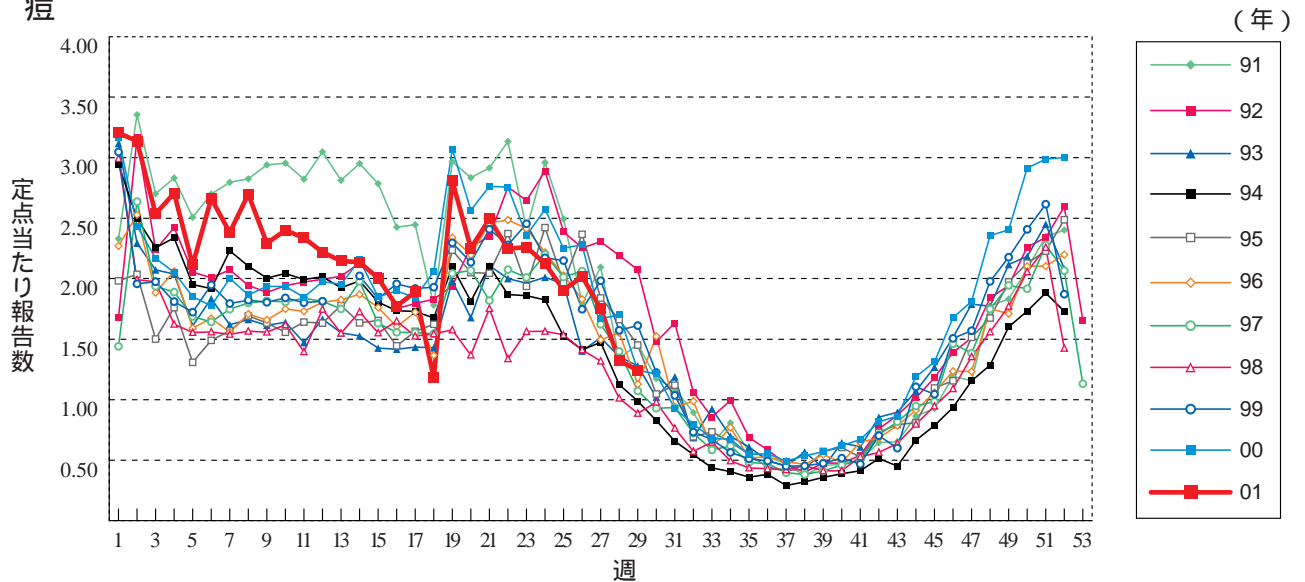
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



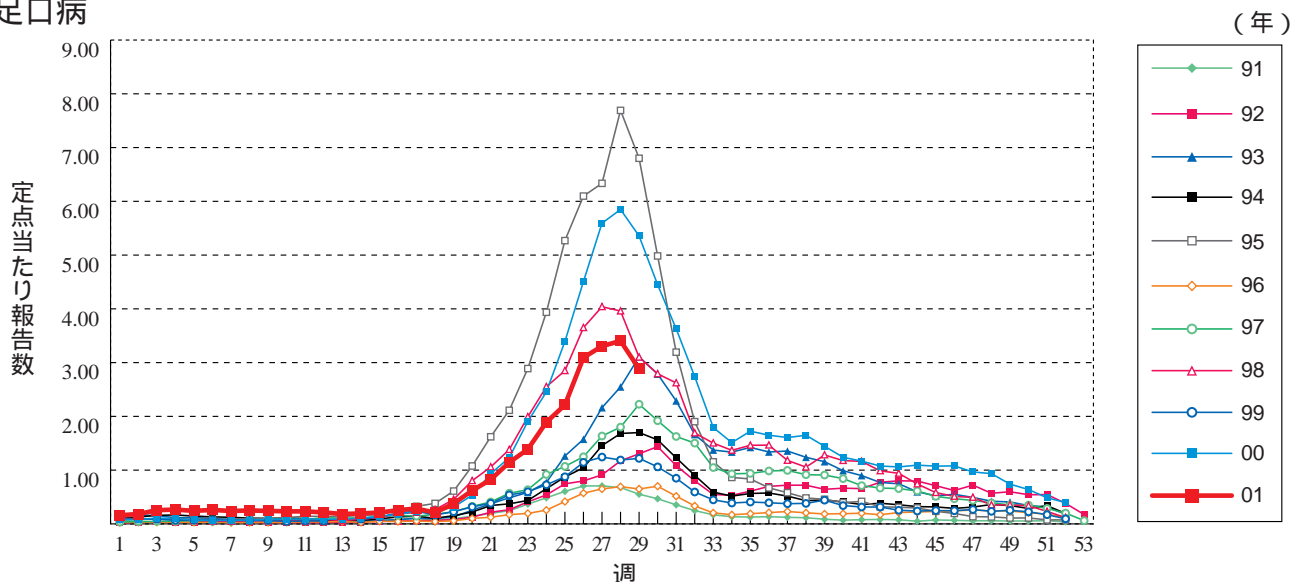
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



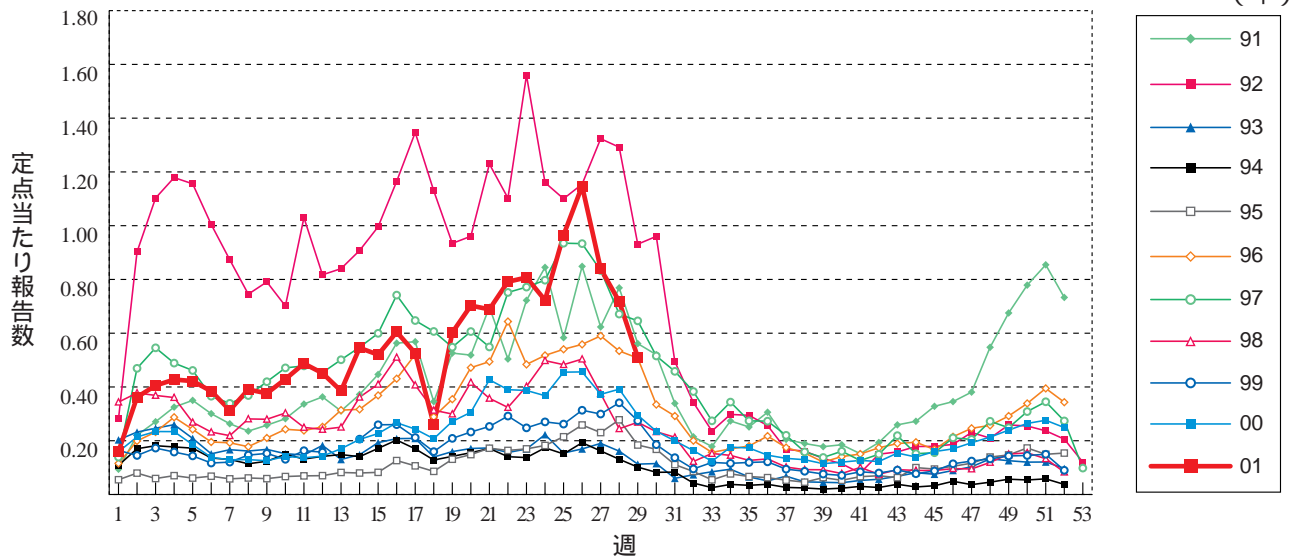
水痘



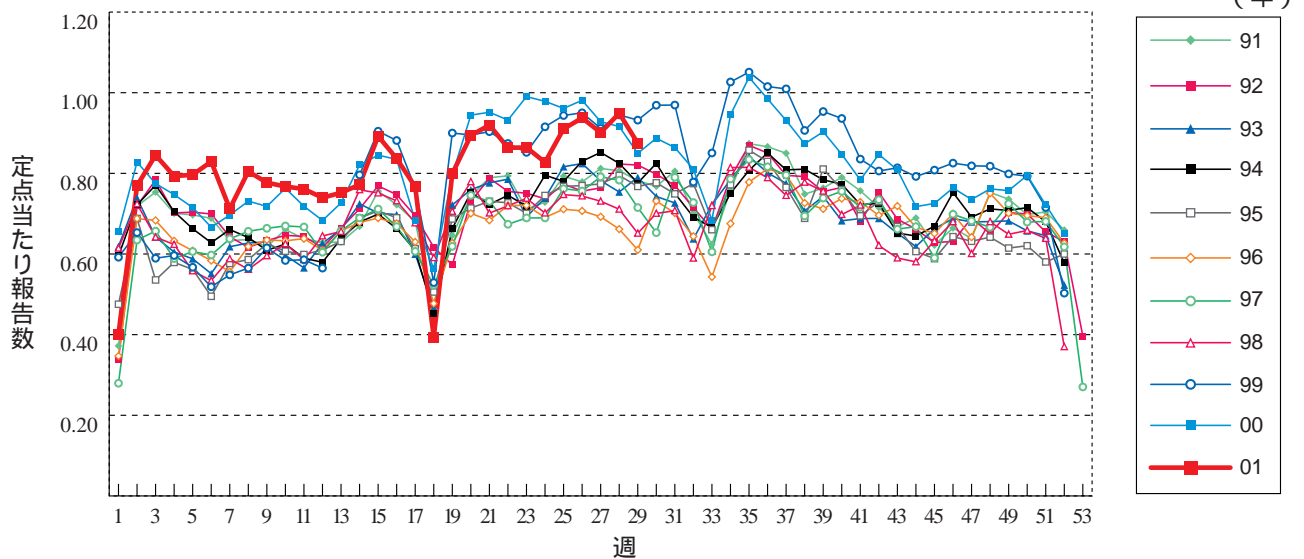
手足口病



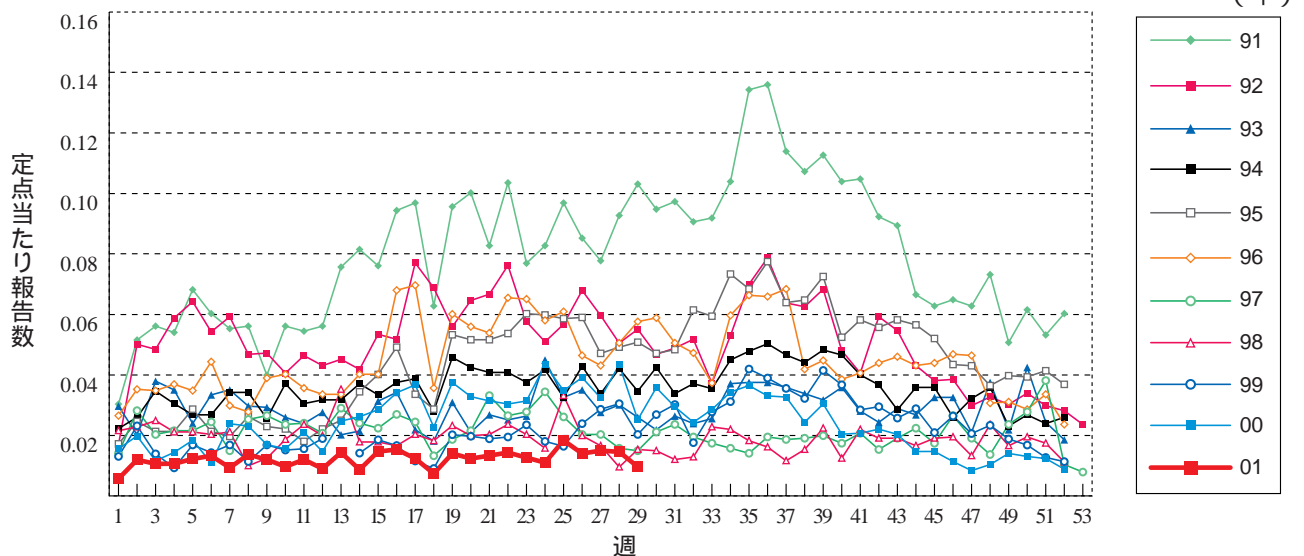
伝染性紅斑



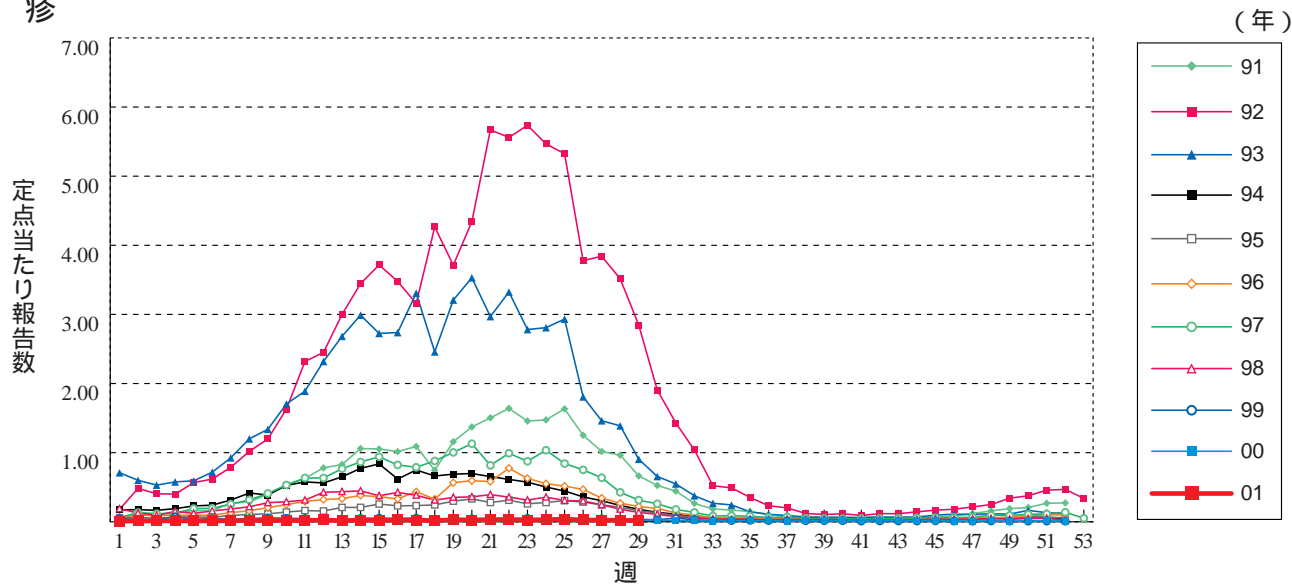
突発性発疹



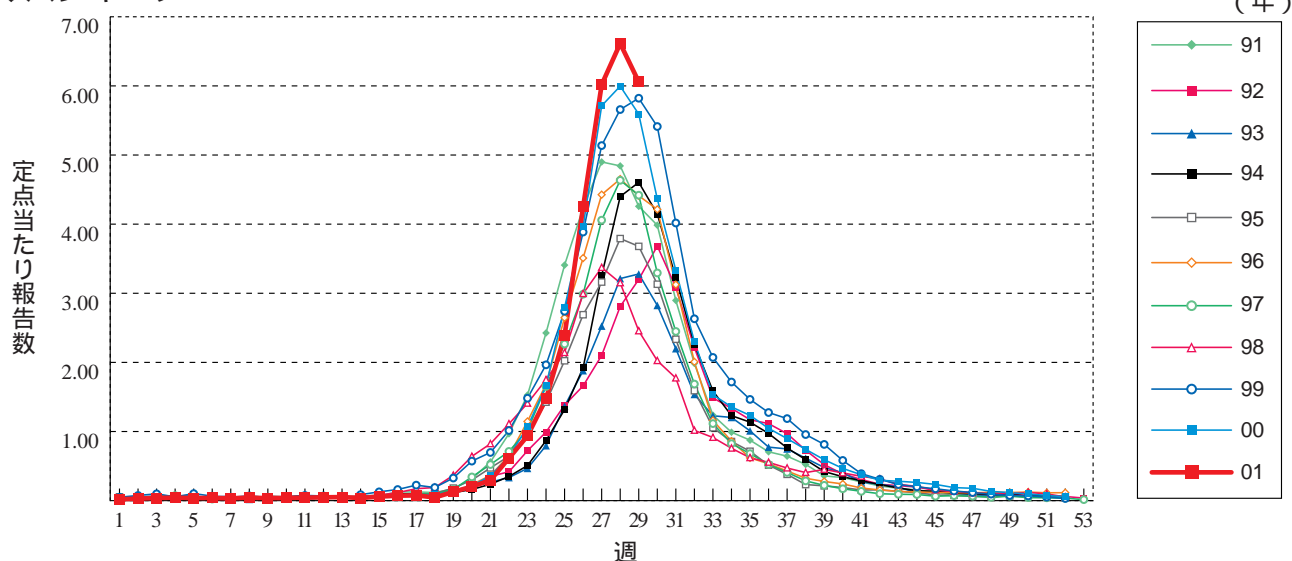
百日咳



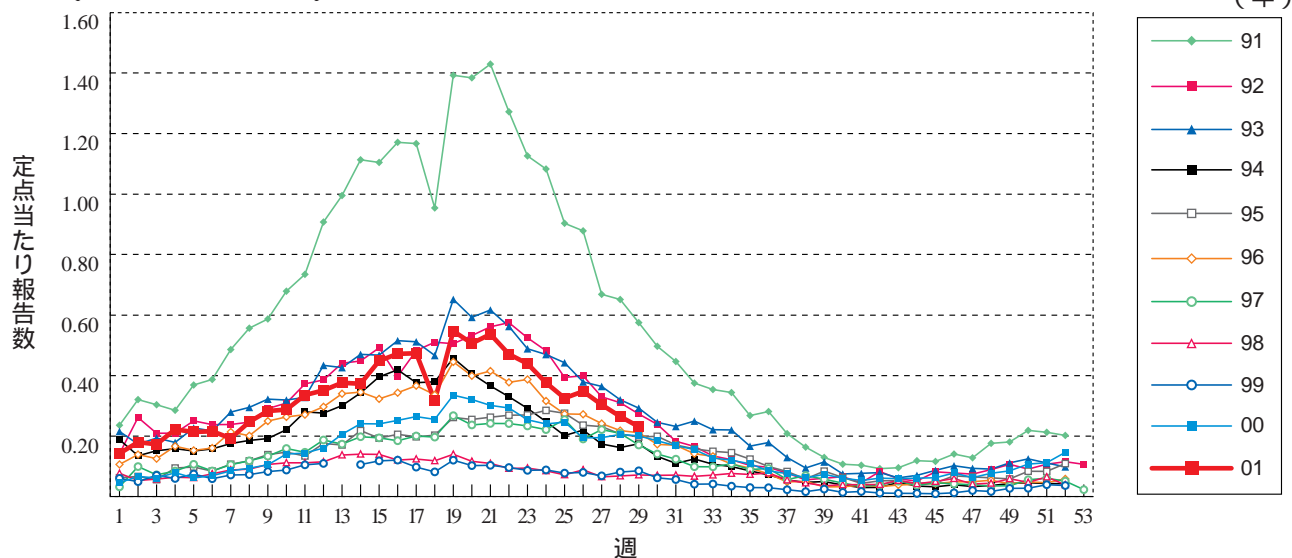
風 疹



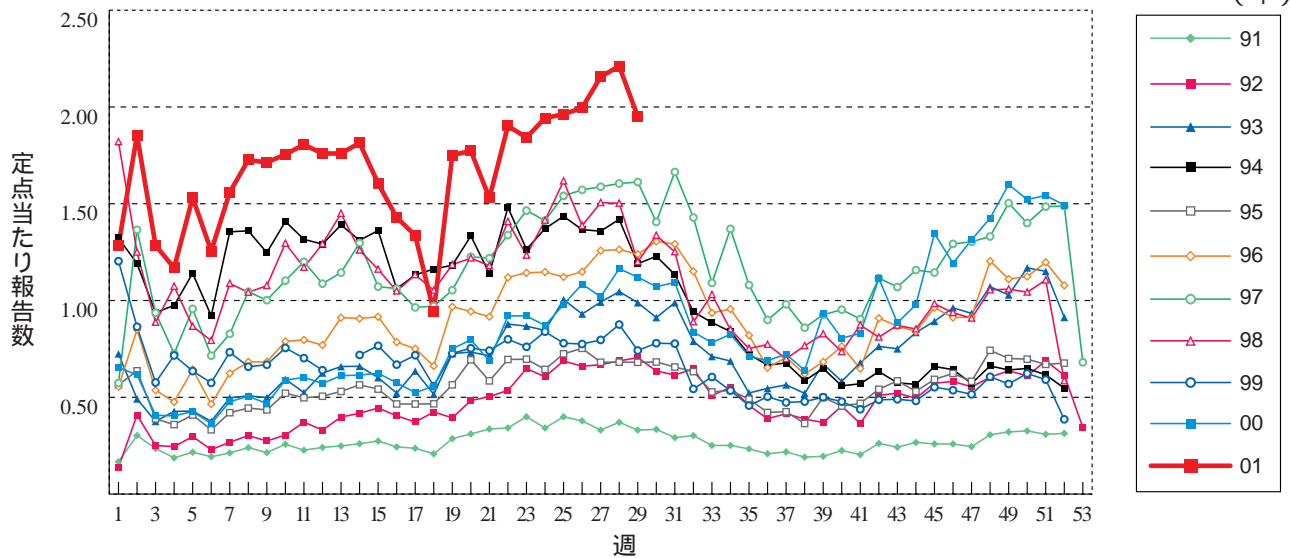
ヘルパンギーナ



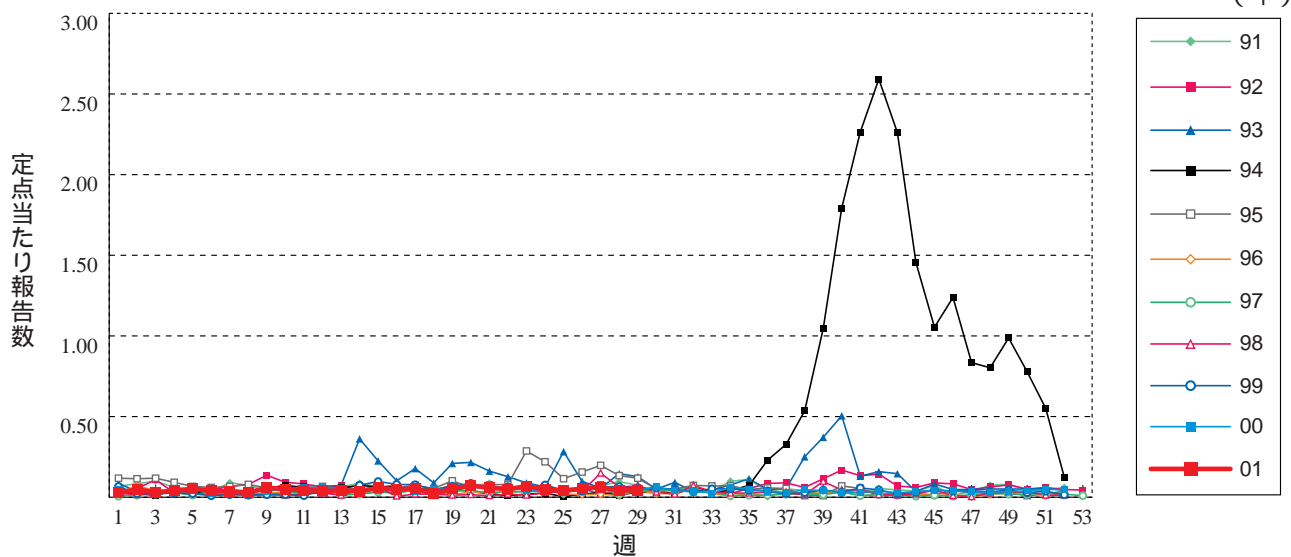
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



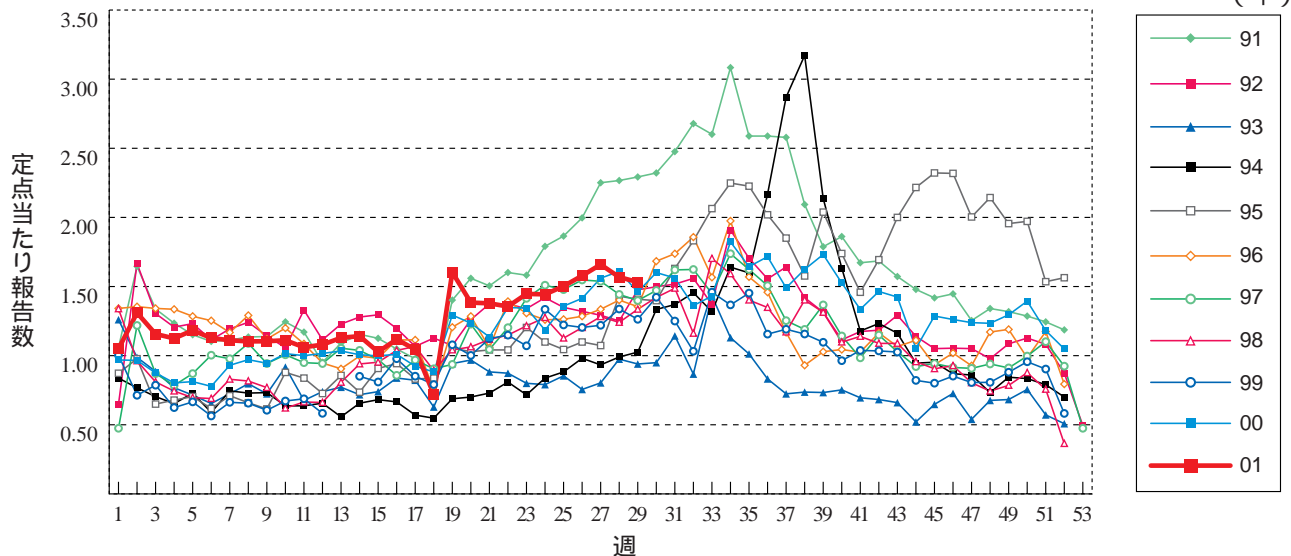
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

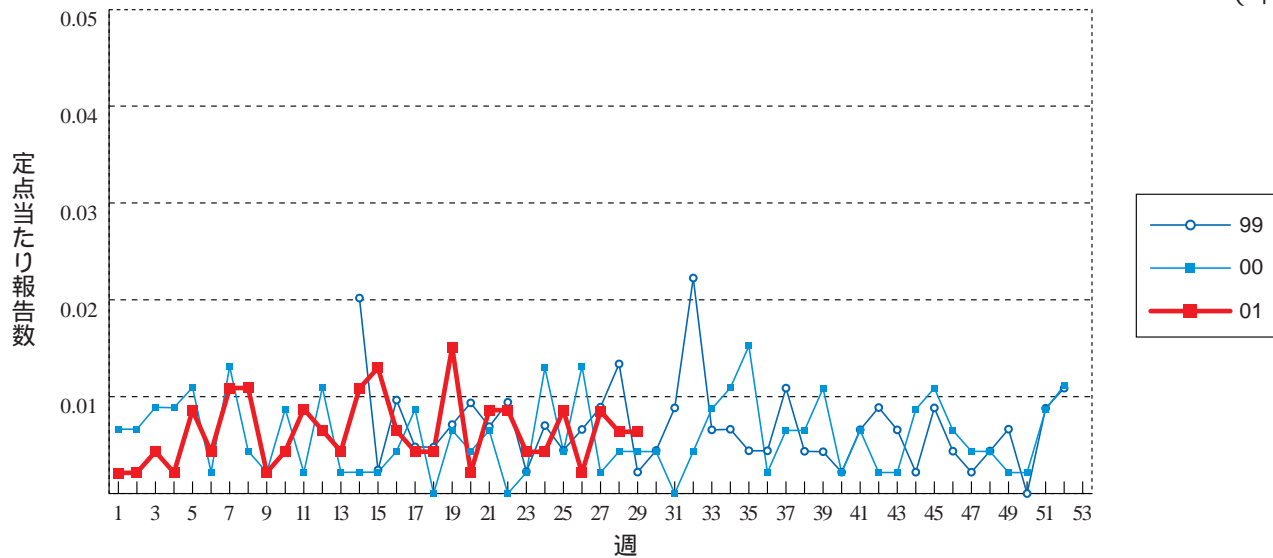


流行性角結膜炎



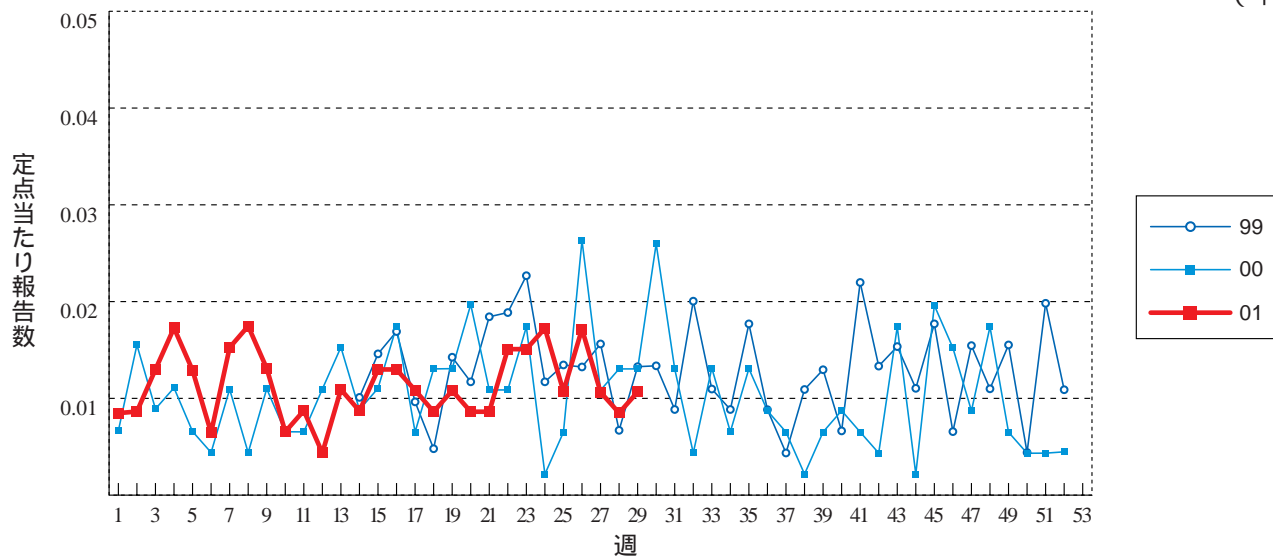
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



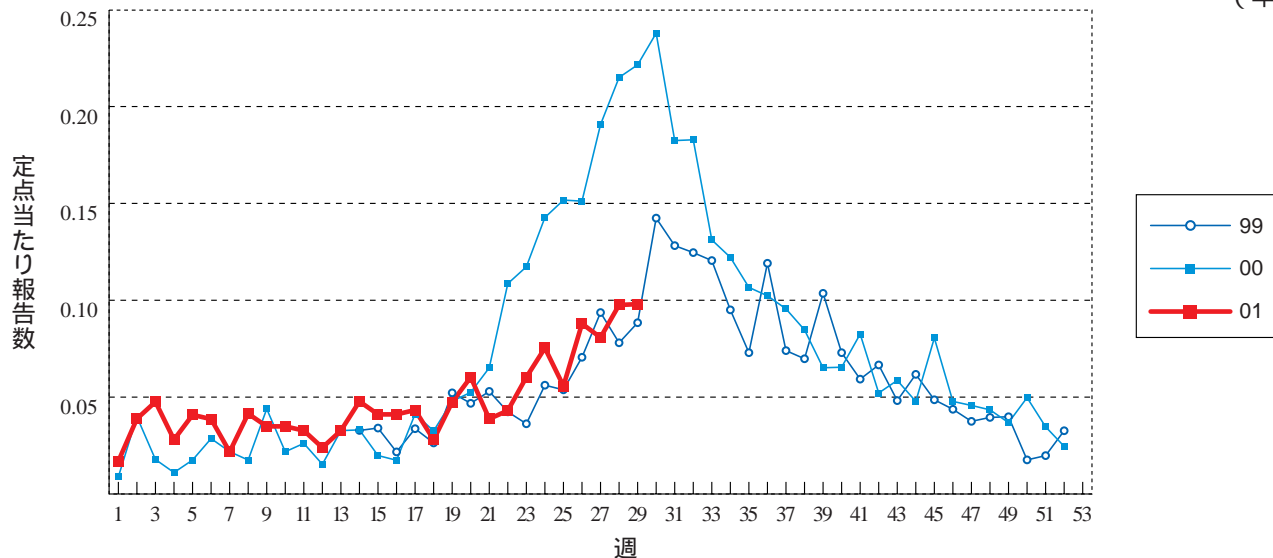
細菌性髄膜炎

(年)



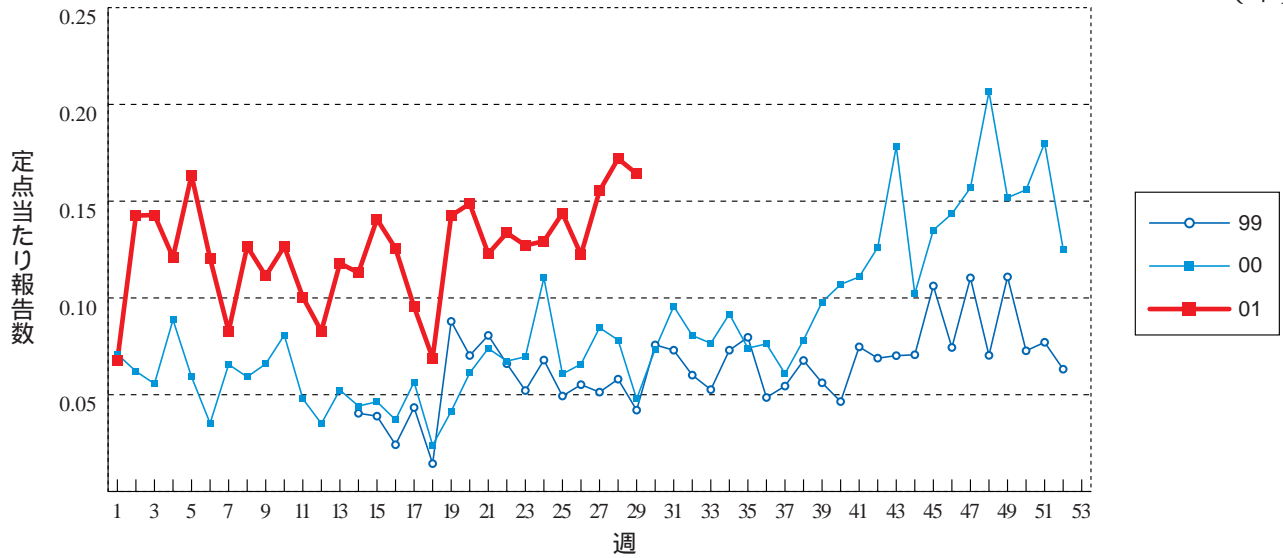
無菌性髄膜炎

(年)



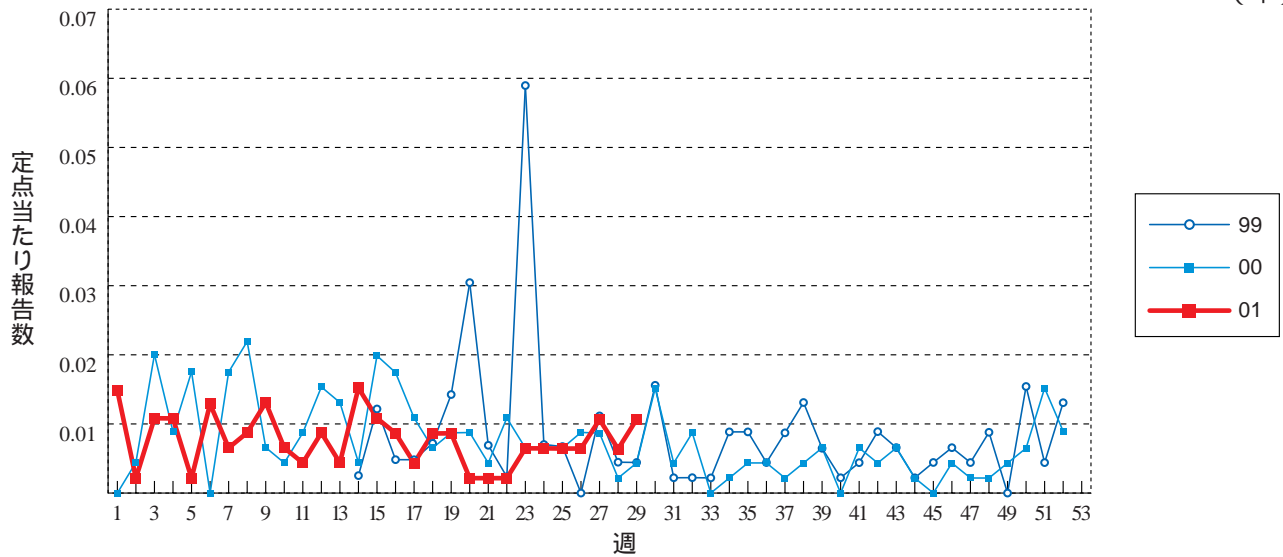
マイコプラズマ肺炎

(年)



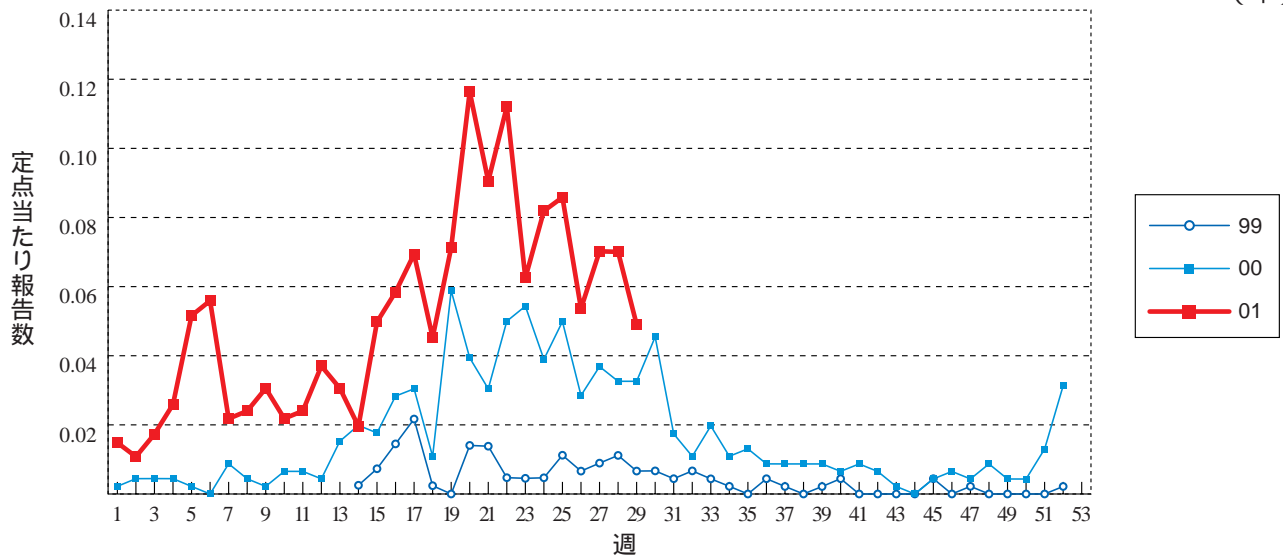
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





29週のデータ

注)表中の報告数は7月27日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年29週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	8	342	-	38	-	10	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	18	-	4	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	70	-	13	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	25	-	-	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	3	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	25	-	5	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年29週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	140	1651	3	202	-	5	-	-	-	23	-	-	6	471
北海道	-	-	-	-	4	44	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	5	13	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
秋田県	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	1	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	1	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
埼玉県	-	-	-	-	5	90	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	2	11
千葉県	-	-	-	-	1	191	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	2	133	-	64	-	-	-	-	-	6	-	-	-	62
神奈川県	-	-	-	-	3	145	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
新潟県	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	32	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	13	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
岐阜県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
静岡県	-	-	-	-	1	22	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	6	76	1	10	-	-	-	-	-	4	-	-	-	13
三重県	-	-	-	-	9	26	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	1	24	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	6	49	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
大阪府	-	-	-	-	13	174	1	32	-	-	-	-	-	3	-	-	1	48
兵庫県	-	-	-	-	10	78	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
奈良県	-	-	-	-	1	24	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	3	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	6	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	5	37	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
山口県	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	22	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	8	40	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	27
佐賀県	-	-	-	-	6	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	5	31	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	2	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	2	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
宮崎県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	2	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
沖縄県	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年29週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	-	-	3	2	61	1	27	3	467	-	1	1	79	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	1	35	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	5	-	3	-	195	-	-	1	36	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	4	-	1	-	43	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	17	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	7	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	1	37	-	-	-	11	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	11	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年29週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	1	1	-	-	2	192	4	20	-	14	-	-	-	-	4	287
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	9
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	1	9	-	-	-	-	-	-	-	51
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	14
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	1	1	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年29週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	32	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	2	54	-	2	-	41
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
千葉県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	5
神奈川県	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年29週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	155	0.03	1522	0.50	1745	0.58	6248	2.07	3740	1.24	8697	2.88	1541	0.51	2639	0.87	29	0.01
北海道	6	0.03	67	0.46	133	0.92	163	1.12	324	2.23	368	2.54	19	0.13	90	0.62	-	-
青森県	4	0.06	27	0.64	15	0.36	38	0.90	31	0.74	58	1.38	22	0.52	25	0.60	1	0.02
岩手県	1	0.02	8	0.22	12	0.32	43	1.16	45	1.22	12	0.32	23	0.62	23	0.62	-	-
宮城県	1	0.01	10	0.17	39	0.66	207	3.51	132	2.24	90	1.53	55	0.93	82	1.39	1	0.02
秋田県	3	0.05	2	0.06	8	0.23	75	2.14	24	0.69	297	8.49	41	1.17	21	0.60	1	0.03
山形県	-	-	7	0.23	52	1.73	61	2.03	45	1.50	55	1.83	41	1.37	36	1.20	1	0.03
福島県	-	-	24	0.50	16	0.33	77	1.60	96	2.00	21	0.44	9	0.19	39	0.81	3	0.06
茨城県	1	0.01	31	0.42	31	0.42	116	1.59	75	1.03	71	0.97	28	0.38	45	0.62	1	0.01
栃木県	-	-	22	0.48	18	0.39	88	1.91	32	0.70	20	0.43	18	0.39	48	1.04	1	0.02
群馬県	-	-	75	1.23	51	0.84	80	1.31	59	0.97	59	0.97	23	0.38	52	0.85	-	-
埼玉県	9	0.04	141	0.88	139	0.87	394	2.46	291	1.82	361	2.26	153	0.96	166	1.04	2	0.01
千葉県	-	-	106	0.83	104	0.81	208	1.63	196	1.53	587	4.59	84	0.66	116	0.91	-	-
東京都	-	-	54	0.39	24	0.17	206	1.49	90	0.65	144	1.04	44	0.32	49	0.36	-	-
神奈川県	11	0.04	151	0.74	69	0.34	347	1.69	220	1.07	274	1.34	87	0.42	229	1.12	1	0.00
新潟県	-	-	33	0.55	57	0.95	143	2.38	61	1.02	123	2.05	7	0.12	51	0.85	-	-
富山県	-	-	1	0.03	30	1.03	66	2.28	18	0.62	15	0.52	10	0.34	34	1.17	-	-
石川県	-	-	1	0.03	13	0.45	155	5.34	38	1.31	30	1.03	14	0.48	25	0.86	3	0.10
福井県	-	-	3	0.14	11	0.50	73	3.32	57	2.59	167	7.59	20	0.91	17	0.77	-	-
山梨県	4	0.10	10	0.40	5	0.20	42	1.68	23	0.92	155	6.20	15	0.60	9	0.36	-	-
長野県	-	-	28	0.52	45	0.83	111	2.06	102	1.89	275	5.09	29	0.54	40	0.74	1	0.02
岐阜県	6	0.08	46	0.98	39	0.83	70	1.49	60	1.28	227	4.83	37	0.79	39	0.83	-	-
静岡県	16	0.12	84	0.98	43	0.50	217	2.52	80	0.93	394	4.58	53	0.62	84	0.98	1	0.01
愛知県	-	-	141	0.77	97	0.53	303	1.66	203	1.12	373	2.05	125	0.69	153	0.84	2	0.01
三重県	-	-	22	0.49	27	0.60	162	3.60	63	1.40	276	6.13	31	0.69	62	1.38	-	-
滋賀県	-	-	45	1.41	13	0.41	29	0.91	34	1.06	20	0.63	10	0.31	16	0.50	-	-
京都府	3	0.02	18	0.24	39	0.51	204	2.68	72	0.95	41	0.54	31	0.41	59	0.78	-	-
大阪府	-	-	31	0.16	93	0.48	398	2.05	230	1.19	58	0.30	59	0.30	159	0.82	2	0.01
兵庫県	3	0.02	38	0.30	62	0.49	304	2.41	177	1.40	291	2.31	39	0.31	129	1.02	1	0.01
奈良県	-	-	13	0.37	7	0.20	54	1.54	45	1.29	21	0.60	32	0.91	21	0.60	-	-
和歌山県	-	-	12	0.39	8	0.26	26	0.84	28	0.90	8	0.26	-	-	21	0.68	-	-
鳥取県	-	-	16	0.84	41	2.16	77	4.05	16	0.84	15	0.79	8	0.42	21	1.11	-	-
島根県	-	-	2	0.09	3	0.13	34	1.48	20	0.87	19	0.83	6	0.26	11	0.48	-	-
岡山県	5	0.06	21	0.39	20	0.37	115	2.13	38	0.70	59	1.09	13	0.24	25	0.46	-	-
広島県	-	-	33	0.44	41	0.55	173	2.31	58	0.77	129	1.72	44	0.59	59	0.79	-	-
山口県	-	-	22	0.45	50	1.02	79	1.61	40	0.82	636	12.98	29	0.59	57	1.16	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	11	0.48	37	1.61	26	1.13	38	1.65	14	0.61	22	0.96	1	0.04
香川県	-	-	16	0.50	18	0.56	79	2.47	28	0.88	35	1.09	21	0.66	31	0.97	-	-
愛媛県	-	-	12	0.31	17	0.44	115	2.95	44	1.13	72	1.85	37	0.95	37	0.95	-	-
高知県	-	-	9	0.29	7	0.23	41	1.32	44	1.42	65	2.10	14	0.45	15	0.48	-	-
福岡県	66	0.36	55	0.52	87	0.83	322	3.07	186	1.77	773	7.36	94	0.90	116	1.10	5	0.05
佐賀県	-	-	11	0.48	20	0.87	18	0.78	28	1.22	235	10.22	8	0.35	34	1.48	-	-
長崎県	-	-	2	0.04	10	0.21	115	2.40	33	0.69	196	4.08	18	0.38	31	0.65	-	-
熊本県	1	0.01	12	0.24	36	0.73	99	2.02	44	0.90	374	7.63	14	0.29	69	1.41	1	0.02
大分県	-	-	29	0.81	30	0.83	151	4.19	58	1.61	299	8.31	17	0.47	50	1.39	-	-
宮崎県	-	-	13	0.35	29	0.78	145	3.92	38	1.03	245	6.62	27	0.73	61	1.65	-	-
鹿児島県	9	0.09	16	0.27	22	0.37	174	2.90	74	1.23	602	10.03	17	0.28	45	0.75	-	-
沖縄県	6	0.10	-	-	3	0.09	14	0.41	14	0.41	14	0.41	1	0.03	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年29週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	52	0.02	18277	6.06	697	0.23	5885	1.95	28	0.04	967	1.53	3	0.01	5	0.01	46	0.10
北海道	5	0.03	349	2.41	87	0.60	235	1.62	-	-	70	2.41	-	-	-	-	-	-
青森県	5	0.12	100	2.38	8	0.19	45	1.07	-	-	27	2.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	185	5.00	4	0.11	50	1.35	4	0.33	12	1.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	652	11.05	21	0.36	82	1.39	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	140	4.00	9	0.26	43	1.23	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	232	7.73	-	-	49	1.63	-	-	6	0.75	-	-	-	-	1	0.10
福島県	1	0.02	789	16.44	25	0.52	72	1.50	-	-	19	1.58	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	3	0.04	326	4.47	12	0.16	181	2.48	-	-	64	4.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	3	0.07	231	5.02	5	0.11	63	1.37	1	0.08	26	2.17	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	355	5.82	4	0.07	57	0.93	-	-	46	3.29	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1510	9.44	12	0.08	403	2.52	-	-	51	1.46	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	3	0.02	1085	8.48	20	0.16	316	2.47	2	0.06	63	1.97	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	847	6.14	8	0.06	143	1.04	1	0.08	20	1.54	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	4	0.02	1898	9.26	35	0.17	409	2.00	-	-	69	1.64	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	526	8.77	4	0.07	211	3.52	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.15
富山県	-	-	196	6.76	1	0.03	66	2.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	118	4.07	-	-	146	5.03	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	86	3.91	2	0.09	113	5.14	-	-	8	2.67	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	58	2.32	1	0.04	23	0.92	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	411	7.61	4	0.07	178	3.30	-	-	25	2.50	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	192	4.09	11	0.23	87	1.85	1	0.09	19	1.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	838	9.74	25	0.29	207	2.41	1	0.05	24	1.20	-	-	-	-	4	0.50
愛知県	4	0.02	899	4.94	53	0.29	342	1.88	-	-	52	1.49	-	-	-	-	2	0.15
三重県	-	-	321	7.13	2	0.04	78	1.73	1	0.08	1	0.08	-	-	1	0.11	1	0.11
滋賀県	-	-	190	5.94	3	0.09	45	1.41	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	544	7.16	16	0.21	127	1.67	-	-	18	1.00	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	794	4.09	43	0.22	348	1.79	1	0.02	17	0.33	-	-	-	-	1	0.08
兵庫県	5	0.04	792	6.29	14	0.11	164	1.30	-	-	35	1.03	1	0.07	2	0.14	1	0.07
奈良県	1	0.03	221	6.31	7	0.20	74	2.11	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	1	0.03	218	7.03	3	0.10	66	2.13	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	86	4.53	-	-	4	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	125	5.43	5	0.22	12	0.52	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	341	6.31	13	0.24	72	1.33	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	548	7.31	26	0.35	65	0.87	3	0.15	33	1.65	-	-	-	-	9	0.43
山口県	-	-	155	3.16	14	0.29	78	1.59	-	-	21	2.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	192	8.35	2	0.09	36	1.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	288	9.00	4	0.13	70	2.19	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	430	11.03	1	0.03	112	2.87	-	-	13	1.86	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	164	5.29	1	0.03	9	0.29	-	-	12	4.00	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	2	0.02	323	3.08	65	0.62	401	3.82	4	0.17	92	3.83	-	-	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	64	2.78	8	0.35	100	4.35	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	83	1.73	17	0.35	54	1.13	7	0.70	28	2.80	-	-	-	-	2	0.14
熊本県	1	0.02	122	2.49	18	0.37	86	1.76	-	-	17	1.89	1	0.07	-	-	9	0.60
大分県	-	-	126	3.50	5	0.14	81	2.25	-	-	4	0.80	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	76	2.05	30	0.81	84	2.27	2	0.50	15	3.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	48	0.80	8	0.13	93	1.55	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	3	0.09	41	1.21	105	3.09	-	-	7	0.70	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年29週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	77	0.16	5	0.01	23	0.05
北海道	5	0.22	-	-	1	0.04
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	1	0.05
宮城県	6	0.50	-	-	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	2	0.20
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	2	0.22	-	-
千葉県	5	0.38	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	11	0.48
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	5	0.38	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	5	0.50	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.38	-	-	1	0.13
愛知県	5	0.38	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.25	-	-	1	0.08
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	3	0.60	-	-	-	-
島根県	4	0.50	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	3	0.14	1	0.05	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	5	0.63	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	2	0.13
佐賀県	4	0.67	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	2	0.29	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	2	0.29

感染症週報 第3巻、第29号 平成13年8月3日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。